

参考資料4

令和7年 3月25日

大阪府教育委員会
教育長 水野 達朗 様

少年自然の家共同事業体
代表者
大阪市東淀川区東中島1丁目20番14号
公益財団法人 大阪ユースホステル協会
会長 平 岡 龍 人

令和7年度大阪府立少年自然の家の事業計画書等の提出について

大阪府立少年自然の家指定管理者募集要項に基づき下記のとおり提出します。

記

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 事業計画書 | 別紙1「事業計画書」のとおり |
| 2. 収支計画書 | 別紙2「収支計画書」のとおり |
| 3. 管理体制計画書 | 別紙3「管理体制計画書」のとおり |

1. 事業計画

1. 事業運営方針（年間管理運営目標）

- ① 関係法令の遵守及び個人情報保護、情報管理、労働管理における規定の設定と運営
 - ・ 関連の各種法令等を遵守し、職員の情報リテラシーを高め適切な情報管理を行う。
 - ・ 安全管理を徹底し、安定的な運営が可能となる適切な労務管理を行う。
- ② 利用者にとって安心・安全な施設運営の推進
 - ・ 施設の安全性、快適性を強化するための修繕や改修を実施する。
 - ・ 食堂のHACCPに沿った衛生管理の実施や食育の推進、温かい食事の提供と食品ロスの削減に取り組む。
 - ・ 利用団体からのスペシャルニーズ（宿泊に不安を抱える児童への保護者の見守り泊など）への柔軟な対応を行うことでより安心な環境を提供する。
- ③ 施設の特性を生かしたイベントの企画や、社会教育施設としての利用目的・活動内容に応じたプログラムの提供
 - ・ 学習指導要領に示されている「防災を含む安全教育や体験活動」を踏まえ、「防災教育プログラム」を提供する。
 - ・ 学習指導要領を基に、環境学習として取り組むことができる「森林ESDプログラム」を提供する。
 - ・ 大阪府の体験活動推進を目的とし、学校等へ「出前講座」を実施する。同時に「出前講座」のメニューの充実を図る。
 - ・ 企業の研修の場としての利用促進やワーケーション利用を推進する。
 - ・ SDGs への取組みをイベントに取入れることで社会問題への意識付けを行う
 - ・ 常にニーズの把握に努め事業のブラッシュアップを行い、参加者数の増加を図る。
- ④ 広報、情報発信、SEO対策の取組
 - ・ ホームページの全面リニューアルを昨年行いましたので、今年度はより利用者にわかりやすい内容を心がけた作りこみを行うとともに、SNSによる広報の充実によりフォロワー数の増加を図る。
 - ・ 有料のものも含め、WEB広告の活用によるマーケティング強化や検索エンジンにおける上位への表示に努める。
 - ・ 動画共有サービスを活用して情報発信をするとともに、来所による下見や打ち合わせの簡略化を引き続き行う。
 - ・ デジタルツールを積極的に用いて、より魅力的な広報活動や情報発信を行う。
- ⑤ 企業との協働、近隣施設の資源の活用
 - ・ 企業や団体、近隣施設等との協働により、魅力あるイベントを実施し、利用者満足度の向上を図る。

事業内容

主催事業の実施

①新たな教育課題への対応

●災害に備える支援事業

子どもが家族とともに災害の知識を学習し、有事の際に自らの命を守る力を身につける。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
防災デイキャンプ	9/23	小学生以上 50名	9月の防災月間に合わせた事業。災害時に役立つ体験をすることで、災害に対する意識を高め、自助と共助について学ぶ。

②長期宿泊体験

●長期宿泊自然体験推進事業「こどもワイルドキャンプ」

体験活動を通して、自主性を養い仲間作りやコミュニケーション能力を高め、「生きる力」(知・徳・体のバランスのとれた力)を育む野外宿泊体験活動を行う。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
長期宿泊自然体験活動 こどもワイルドキャンプ	8/10-14 4泊5日	小学4-6年生 24名	自然の家と和泉葛城山周辺の豊かな自然を利用し、仲間作りゲーム、ツリーハウス、野外炊飯、登山などの自然体験活動など。

●「中高生チャレンジキャンプ」

中学生～高校生を対象に、自らの意思で考え、仲間との団結、野外生活や自然の中で生き抜く知恵などを育む。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
中高生チャレンジキャンプ	8/5-8 3泊4日	中学生～高校生 12名	小集団活動を通じ、自然の中での冒険活動。シェルター作り、野外泊、野外料理、課題解決ゲームなど。

③読書活動と結びつけた自然体験の推進

●自然と絵本のコラボレーション事業「絵本でいただきます」

子どもたちに五感を意識して使う機会を与え、絵本を作る喜びを体験する。

子育て中の親同士が活動を通して、新たな情報交換の場を提供する。

(バーベキューガーデンイベントとして実施)

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
バーベキューガーデンイベント① 絵本でいただきます	①5/17 ②5/18 計2回	子どもを含む家族 10家族30名	地域の図書館の協力により絵本を閲覧展示（森の図書館）。絵本に登場する料理をつくる。

●自然の中で読書活動推進事業「えほんのひろば」

恵まれた自然の中で絵本にふれあうことで、子どもの感性を豊かにし、想像力や表現力を育てる。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
えほんのひろば	2/11 (オープンデーと併催)	子どもを含む家族 150名	恵まれた自然の息吹の中で絵本を楽しむ場を設ける。専門機関と連携しながら効果的な活動を実施する。

自主事業の実施

●障がいを抱える青少年への支援事業

知的障がいのある子どもとその保護者・家族を対象に、臨床動作法の実習と乗馬を行う。

馬とのふれあい体験を通して、家族の絆を深める。また参加家族同士の新たな情報・交流のネットワークを作る。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
乗馬体験と臨床動作法	10/26	知的障がいのある小学生と家族 10家族30名	専門機関と連携しながら親子で「遊び体験」と「臨床動作法の講習」を実習。近隣の乗馬センターを活用し、餌やりや乗馬、引き馬体験など実施。

●「フォレストジュニアクラブ(森の学校)」

肉体的、精神的に発達が著しい時期に、自然とふれあい、自然がもたらす恵みと感動や発見を体感する。季節に応じて年4回実施。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
フォレストジュニアクラブ (森の学校)	①6/14-15 ②9/6-7 ③12/6-7 ④3/7-8 計4回	小学3-6年生 各回36名	自然観察、生き物観察、ハイキング、キャンプ、野外料理、星空観察、ナイトハイクなど。

●こどものための自然体験活動

フォレストジュニアクラブで実施していたプログラムで特に応募も多い自然体験活動を個別に事業化し、こどもたちが自然と親しみ原体験を豊かにする機会を増やす。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
こどもシャワークライミング	①7/20 ②7/21 計2回	小学3-6年生 各回30名	シャワークライミング、虫取りなど。

●ホタル観賞、自然をまるかじり

府民が気軽に参加できる日帰り事業として、それぞれの季節に応じた内容を展開する。

(バーベキューガーデンイベントとして実施)

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
バーベキューガーデンイベント② ホタル観賞のタベ	①5/31 ②6/1 ③6/7 ④6/8 計4回	家族・一般 各回30名	ホタルの生態について解説後、周辺地域でホタル観賞。
バーベキューガーデンイベント④ ダッジオープン	①12/20 ②12/21 計2回	家族・一般 各回30名	季節の作物を使ったダッジオープン料理に挑戦する。

●ファミリーキャンプ

自然の家の環境を活かし自然体験活動を通して家族との絆を深める。

キャンプ初心者でも気軽に楽しめる機会を提供する。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
ファミリーキャンプ	10/4-5	家族 15組50名	自然観察、ハイキング、野外料理、キャンプファイヤー、テント設営など。

●大阪府アドプトフォレスト

企業等事業者がスポンサーとなり、森林の保全・整備のために間伐や植樹、下草刈りなどの森づくり活動を推進する「アドプトフォレスト制度」を活用する地域連携事業。

森林に親しみ、里山と人との関わりを学ぶ機会を提供する。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
大阪府アドプトフォレスト	11/16	小学4年生～中学生を含む家族 50名	大阪府・清水建設・少年自然の家の3者連携契約事業。自然の家の周囲の森林、竹林を活用し、参加者が杉や竹の間伐や木登りなどの体験を実践しながら冒険の森づくりの活動を実施する。

●自然環境・野外活動指導者養成事業

指導者養成講座

青少年の体験活動を指導する人材育成の拠点施設として森林資源を活用した環境教育指導者の養成活動を推進する。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
指導者養成講座 (ネイチャーゲームリーダー養成講座を予定)	1/24-25	青少年活動・自然体験活動に興味のある人。 10名程度	野外活動系の指導者養成講習会など専門機関連携を進め開催する。

●自然の家専属指導者の育成事業

施設利用団体への支援、主催事業への運営支援を担うボランティアスタッフを育成する。

(教育関係や学校現場を目指す大学生のボランティア体験の場としても有効。)

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
そぶらリーダー研修	6/28-29 10/18-19 2/14-15	大学生、専門学校生、社会人 10名程度	施設の理解、子どもの理解、安全管理などの座学研修。 野外活動スキルの実習。 事業の補助(OJT)。

●近隣市町村との連携支援事業

近隣市町村や子ども会等からの依頼により、体験活動の実施を支援する。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
近隣市町村との連携支援事業	4月から翌年3月までの期間 日帰り	市町村教育委員会、放課後子ども教室、公民館など 累計200名程度	・近隣市町村主催の青少年育成事業における自然体験活動運営への支援 ・教育コミュニティづくり推進事業「おおさか元気広場(出前講座)」の運営支援 ・公民館事業への運営支援など

●インターンシップ(就労体験)推進事業

職業意識の向上と職業選択に役立つ経験のため、近隣の大学からインターンシップ実習生の受入れ、少年自然の家の運営をスタッフとして体験し、職業人としての資質を高める。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
インターンシップ(就労体験)推進事業	4月から翌年3月までの期間 宿泊または日帰り	大学生、専門学校生 20名程度	大学等と連携しながら、受入れ利用団体への支援、自主事業に参画する。

その他の自主事業の実施

●おとなのための自然体験活動

子どもの頃に経験したような豊かな自然と触れ合うことにより、年齢に問わず心癒される時間を過ごし、新たな発見や感動体験を味わう。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
おとなのえんそく① シャワークライミング	8/23	成人、一般 各回 12 名	ツリーイング、シャワークライミング、野外料理など
おとなのえんそく② ツリーイング	11/15		

●シルバー世代を対象とした体験学習活動

ニーズに応じて、高齢者を対象にした自然、野外をテーマとした体験学習活動を行う。
また、同世代の交流の機会も担う。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
シルバー生涯学習 DAY	ニーズに応じて対応	府内のシルバー世代向け施設など	自然観察、野鳥など生物観察、自然素材を使ったクラフトなど。内容により専門家等の協力を得ながら実施する。

●家族でたき火を楽しむ事業

親子の会話や、たき火を楽しめる環境が無くなりつつある現代。自然の中で焚き火を囲み、家族で団欒する時間と場を提供する。また、冬季閑散期の利用促進を目指す。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
たき火を楽しもう	①1/18 ②1/25 ③2/15 ④3/1 計 4 回	家族、一般 各回 50 名	焚き火をベースに、薪割り体験などの野外活動体験。焼き芋など持込可。

●子育てを応援する事業

四季折々の自然を親子で親しむ体験や、子供の自立を促す活動を行う。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
親子 de しぜんのようちえん	①5/11 ②7/6 ③11/30 ④1/25 計 4 回	園児（4-5 歳）を含む家族 各回 10 組 30 名	子どもの原体験の促進と、親子のふれあう機会として、専門家と季節に応じた「おさんぽ」を楽しむ。
もりのこクラブ	①6/22 ②8/31 ③11/9 ④3/14-15 計 3 回	小学 1-3 年生 各回 15 名	子供だけでクラフトや料理など野外体験活動を行う。最終回は初めてのお泊りを体験する。

●バーベキューガーデンを使用した事業

併設施設「バーベキューガーデン奥貝塚」を中心に府民が気軽に参加できる日帰り事業を企画し、利用率の促進を図る。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
バーベキューガーデンイベント③ 流しそうめん体験	①8/9 ②8/10～⑨8/17 計9回	家族、一般 各回30名	家族で相談しながら流しコースを組立て、流しそうめんを楽しむ。

※ 上記の他、自主事業として①(えほん)を主催事業、②(ホタル)と④(ダッジオープン)を実施。

●開かれた施設としての地域連携 『自然の家オープンデー』

地域に根ざした施設運営を推進していくため、近隣関係機関・団体、企業などと連携し、人的、機関的ネットワークの構築を進めていく。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
第40回 自然の家オープンデー	2/11	広く一般に開放 自由参加 500名程度	施設を無料開放(一部予約有料プログラムあり)。野外活動、ゲーム、クラフト、健康講座、利用団体による発表会など、各種企業団体と連携を図る。

●お泊りパック

手軽にキャンプを体験できる機会として、食事や野外活動プログラムをパッケージ化し提供する。あわせて閑散期の利用促進、繁忙期の業務効率化を目指す。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
ゴールデンウィーク お泊りパック	①4/26-27 ②4/28-29 ③4/29-30 ④4/30-5/1 ⑤5/1-2 ⑥5/2-3 ⑦5/3-4 ⑧5/4-5 ⑨5/5-6 計9回	家族、一般 ゴールデンウィーク 各回 最大6組 平均10名 秋・冬 各回12組30名	1泊3食付きのパッケージ。宿泊場所はテントと宿泊室を選択可(冬季は宿泊室のみ)。用具類は貸出で手ぶら参加。バーベキューやたき火、野外料理、クラフトなどを体験。
秋のお泊りパック	①9/13-14 ②9/14-15 計2回		
冬のお泊りパック	①1/10-11 ②1/11-12 ③2/21-22 ④2/22-23 計4回		

●クリエイターキャンプ

義務教育化されたプログラミングの知識を活用し、音楽・動画編集、Webデザインなどを自分で考え、形にしていく。プログラミング的思考力や創造力の育成を目指す。

事業名	実施期間	募集対象	実施内容
クリエイターキャンプ	12/13-14	小学4-6年生 30名	音楽・動画編集を学び、各自で動画作品を製作、発表する。

●地域連携

・貝塚自然遊学館

自然の家を含む蕎原地域の自然環境についての指導助言を受け自然観察の利用などで連携を推進する。また、検体サンプルの収拾についても協力を行う。

検体協力、野外生物についての助言・相談など。

・貝塚いぶきヴィレッジ

利用者層のニーズに応じて相互に利用を PR。オープンデーでの野菜の販売などで連携する。

事業計画 （日程は変更になる場合もあり）

4月	ゴールデンウィークお泊りパック① (26-27日)
	ゴールデンウィークお泊りパック② (28-29日)
	ゴールデンウィークお泊りパック③ (29-30日)
	ゴールデンウィークお泊りパック④ (30-1日)
5月	ゴールデンウィークお泊りパック⑤ (1-2日)
	ゴールデンウィークお泊りパック⑥ (2-3日)
	ゴールデンウィークお泊りパック⑦ (3-4日)
	ゴールデンウィークお泊りパック⑧ (4-5日)
	ゴールデンウィークお泊りパック⑨ (5-6日)
	親子deしぜんのようちえん① (11日)
	ガーデンイベント① えほんでいただきます① (17日)
	ガーデンイベント① えほんでいただきます① (18日)
6月	ガーデンイベント② ホタルのタベ① (31日)
	ガーデンイベント② ホタルのタベ② (1日)
	ガーデンイベント② ホタルのタベ③ (7日)
	ガーデンイベント② ホタルのタベ④ (8日)
	フォレストジュニアクラブ① (14-15日)
	もりのこクラブ① (22日)
	そぶらリーダー研修① (28-29日)
7月	親子deしぜんのようちえん② (6日)
	こどもシャワークライミング① (20日)
	こどもシャワークライミング② (21日)
8月	中高生チャレンジキャンプ (5-8日)
	こどもワイルドキャンプ (10-14日)
	ガーデンイベント③ 流しそうめん体験①～⑨ (9～17日 各日)
	おとなのえんそく① シャワークライミング (23日)
	もりのこクラブ② シャワークライミング (31日)
9月	フォレストジュニアクラブ② (6-7日)
	秋のお泊りパック① (13-14日)
	秋のお泊りパック② (14-15日)
	防災DAYキャンプ (23日)
10月	ファミリーキャンプ (4-5日)
	そぶらリーダー研修② (18-19日)
	乗馬体験と臨床動作法 (26日)
11月	もりのこクラブ③ (9日)

	おとなのえんそく② ツリーイング (15日) 大阪府アドプトフォレスト (16日) 親子deしぜんのようちえん③ (30日)
12月	フォレストジュニアクラブ③ (6-7日) クリエイターキャンプ (13-14日) ガーデンイベント④ (自然をまるかじり・ダッジオープン) ① (20日) ガーデンイベント④ (自然をまるかじり・ダッジオープン) ② (21日)
1月	冬のお泊りバック① (10-11日) 冬のお泊りバック② (11-12日) たき火を楽しもう① (18日) 指導者養成講座 (24-25日) 親子deしぜんのようちえん④ (25日)
2月	たき火を楽しもう② (1日) 第40回自然の家オープンデー (11日) えほんのひろば (11日) そぶらリーダー研修③ (14-15日) たき火を楽しもう③ (15日) 冬のお泊りバック③ (21-22日) 冬のお泊りバック④ (22-23日)
3月	たき火を楽しもう④ (1日) フォレストジュニアクラブ④ (7-8日) もりのこクラブ④ (14-15日)
不定期	自然の家専属指導者の育成事業 (上記「そぶらリーダーキャンプ」を含む) 近隣市町村との連携事業 (おおさか元気広場, 出前講座など) インターンシップ(就労体験)推進事業 シルバー生涯学習DAY (ニーズに応じて)

ウ. 業績目標

宿泊数 46,300人 日帰り数 40,700人 合計 87,000人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
宿泊数	6,000	6,700	5,000	4,500	6,500	3,200
日帰り数	6,000	9,600	6,000	3,000	3,000	2,800
合計数	12,000	16,300	11,000	7,500	9,500	6,000
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
宿泊数	3,000	2,500	1,800	1,200	1,200	4,700
日帰り数	3,000	2,400	1,400	700	1,000	1,800
合計数	6,000	4,900	3,200	1,900	2,200	6,500

2. 施設の維持補修

ア. 修繕計画

計画的に設備の管理・更新を実施していく。

- ・「施設維持・管理チーム」により営繕情報を共有し、必要な修繕を行う。

- ・調査を元に緊急性・危険性の度合いにより優先順位を策定し、長期的な修繕計画により実施する。
- ・施設設備が適正に機能しない場合には迅速に対応するとともに府に速やかに報告する。

当年度の設備改善計画

○屋外施設の整備

- ・枯れ木等の伐採を中心とした森林整備
- ・登山道やハイキングコースの整備
- ・道標、オリエンテーション用看板の整備
- ・テント専用サイトの充実（前年度より継続）
- ・ツリーイングポイントの整備充実
- ・アスレチック広場の整備（前年度より継続）
- ・污水配管の定期的な点検

○屋内設備の整備

- ・光熱費の削減のために施設内のLED化を推進
- ・各空調設備のシステムの見直し
- ・水回りの整備、浴室備品の交換
- ・壁や棚、建具、錠前など劣化部分の修繕
- ・ピクトグラムを用いたユニバーサルデザインの導入（前年度より継続）

○屋内外設備の整備

- ・館内外表示の更新
- ・屋内外給水管分岐バルブ（止水栓）交換と追加
- ・屋内外水道節水対策
- ・屋内外トイレ排水管路詰まり対策、洗浄部品の一斉交換

イ．法定点検の実施計画

○敷地及び野外施設整備管理業務

- ・点検業務

施設点検業務

各研修室、体育館、オリエンテーションホール、宿泊室、アスレチック遊具など、利用者が安全・快適に使用できるように月に1回の自主点検を実施する。

- ・保守業務

非常ベル、放送設備、避難器具、誘導灯、消火栓、消火器など消防設備等自主点検を毎月実施する。
空調機、ファン、換気扇、各種ポンプ類 その他機械設備目視点検及びメンテナンス。

○建築物、電気設備、機械設備など

- ・業務委託・保守点検実施計画は水準書の通り実施する。

添付資料①参照。

3. 利用促進のための施策

○「バーベキューガーデン奥貝塚」の利用促進

概要 自然の家駐車場横広場（旧ファミリーキャンプ場）へのバーベキュー場設置

面積 23m×20m 約460㎡

大屋根、バーベキューテーブルあり 100名定員

営業開始 平成30年3月16日

利用目標（宿泊・日帰り含む） 2025年度 利用人数目標 2,500人

利用者層 ファミリー、小グループ、大学生サークル、一般の小団体、小規模の学校や幼稚園団体、学校団体の日帰り利用など

利用促進のための方策

- ・バーベキューガーデン限定のイベントを行い利用の促進とする
- ・かまど部分に簡易屋根を設営し、小規模団体での炊飯利用などを誘致する
- ・駐車場からバーベキューガーデンまでの動線のバリアフリー化を進める
- ・バーベキューメニューや売店商品の拡充

営業計画 販促ツールの作成（SNSによる広報、総合パンフへの掲載、専用ちらし、ポスターの作成）
広報媒体への掲載（自然の家のホームページ、大阪府のホームページへの掲載）民間のWEB媒体への掲載・取材依頼など
校外学習の誘致

4. 情報発信（年間広報計画）

○活用ツール

広報媒体

- ・ホームページのリニューアルを実施
- ・FacebookやInstagram、LINE等SNSを活用した広報を継続
- ・SEO対策の導入
- ・自然の家YouTubeチャンネルの投稿動画の充実を図る
- ・民間ウェブサイトや情報誌への掲載依頼

○営業活動

- ・営業担当により、主に学校利用およびインバウンドの営業活動の強化を図る

5. 利用者サービスの向上(利用者満足度調査実施計画)

- ・利用者の「目的の達成」「利用者の満足度」を調査分析し、顧客満足度の向上を図る
- ・利用満足度調査結果に基づき、優先順位を設けて修繕等の実施

6. その他

- ・就職困難者層への雇用・就労支援
知的障がい者を清掃業務に継続雇用する。
- ・府民、NPOとの協働の取り組み
大学生および社会人のボランティアリーダーのサポート体制をさらに進める。定期的に研修を実施し、スキルアップを図る。
- ・SDG`sを意識した環境問題への取り組み
ゴミの分別、持ち帰り運動によるゴミの減少をすすめる。施設オリエンテーションを通じて利用者に協力を呼び掛ける。

2. 収支計画書

(1) 収支計画

(単位：円)

項 目	金 額
宿泊部門総収入 ①	99,301,000
食堂部門総収入 ②	107,632,000
管理運営委託費 ③	59,958,000
施設総収入 ④	266,891,000
宿泊部門総支出 ⑤	162,665,100
食堂部門総支出 ⑥	104,225,900
施設総支出 ⑦ (⑤+⑥)	266,891,000
損益 ⑧ (⑦-④)	0

(2) 収入内訳

項 目	合計	総収入 対比率	宿泊等部門	食堂等部門
利用料金収入 A	52,060,000	20%	52,060,000	0
食堂収入 B	106,173,000	40%	0	106,173,000
管理運営事業の活動系事業収入 C	37,594,000	14%	37,594,000	0
自主事業収入(活動系事業収入) D	8,690,000	3%	8,690,000	0
自主事業収入(バーベキュー場運営) E	2,416,000	1%	957,000	1,459,000
管理運営委託費 F	59,958,000	22%	59,958,000	0
総収入 G (A+B+C+D+E+F)	266,891,000	100%	159,259,000	107,632,000

(3) 支出内訳

事業費用	H	266,891,000	100%	162,665,100	104,225,900
	人件費	111,916,000	42%	79,542,000	32,374,000
	本部人件費	7,766,200	3%	3,883,100	3,883,100
	光熱水費	32,362,000	12%	22,550,000	9,812,000
	消耗品費	5,865,000	2%	3,960,000	1,905,000
	宣伝費	792,000	0%	792,000	0
	宿泊経費/原材料費	62,306,000	23%	12,920,000	49,386,000
	修繕費	3,630,000	1%	3,300,000	330,000
	手数料	150,000	0%	145,000	5,000
	委託料	11,552,000	4%	11,552,000	0
	公租公課費	12,565,800	5%	7,855,000	4,710,800
	賃借料	2,433,000	1%	2,433,000	0
	その他	4,092,000	2%	4,092,000	0
	本部事務費	3,640,000	1%	1,820,000	1,820,000
	自主事業に係る経費	7,821,000	3%	7,821,000	0

(4) 損益

総収入 (G)	266,891,000		159,259,000	107,632,000
総支出 (H)	266,891,000		162,665,100	104,225,900
損益 (G-H)	0		-3,406,100	3,406,100

施設総収入見込

(1)管理宿泊部門 収入金額 99,301 千円

項 目	金 額	備 考
利用料金収入	小中学生宿泊 16,740	小中学生宿泊 27,300 人
	高校生以上宿泊 24,600	高校生以上宿泊 18,300 人
	日帰り利用 10,180	小中学生日帰り 25,500 人
	テント 540	高校生以上日帰り 15,200 人
	合 計 52,060	テント 700 人
事業収入他		合計 87,000 人
	主催 2,046	31,500
	付帯事業収入 14,218	21,500
	プログラム収入 18,949	1,500
	売店収入 1,439	
	雑収入 942	
	自主事業収入 8,690	54,500
	BBQプログラム収入 957	
	合 計 47,241	
総収入	99,301	

食堂等部門 収入金額 107,632 千円

項 目	金 額	備 考
食堂料金収入	朝 食 28,000	48,200 食
	昼 食 17,900	25,200 食
	夕 食 30,000	32,600 食
	その他(物販) 9,030	夜食・弁当・ジュース等
	食事代収入計 84,930	
	炊飯収入計 21,243	
	合 計 106,173	
事業収入	自主事業収入 1,459	
総収入	107,632	

3. 管理体制計画

1. 組織体制

添付資料②参照

2. 研修計画

・職員研修

本施設における従事者に対して、職員研修会を実施する。

全体研修

研修内容

- ①ホスピタリティー向上に関する研修
- ②人権に関する研修
- ③防災に関する研修
- ④AED研修など

研修時期 11～3月

個々の研修

研修内容

- ①新人対象・マナー・ホスピタリティー研修
 - ・青少年教育振興機構等主催の新人職員向け研修
 - ・大阪府主催人権研修 など
- ②食堂スタッフ対象
 - ・衛生管理と食育をテーマにした研修
- ③専任（指導系）スタッフ対象
 - ・ツリーイング講習
 - ・72時間サバイバルコーチ・ディレクター養成講座
 - ・キャンプインストラクター・ディレクター講習
 - ・青少年教育振興機構等主催の施設職員向け研修
- ④その他対象
 - ・社会教育主事講習の受講
 - ・個人情報保護に関する研修や勉強会
 - ・通信教育による自主研修
 - ・保守・管理業務に関する外部・自主研修 など

研修時期 閑散期を中心に随時

・個人情報の保護

「指定管理業務における個人情報保護規定」を適正に運用する。

・情報公開体制

共同事業体を構成する両団体の業務概要については、それぞれの団体ホームページで公開をするほか、求めに応じて、それぞれの団体本部事務局ならびに少年自然の家にて、誰でも閲覧することが出来る。

ホームページ <http://www.osaka-yha.or.jp>
<http://www.yso.or.jp>

3. 危機管理マニュアル

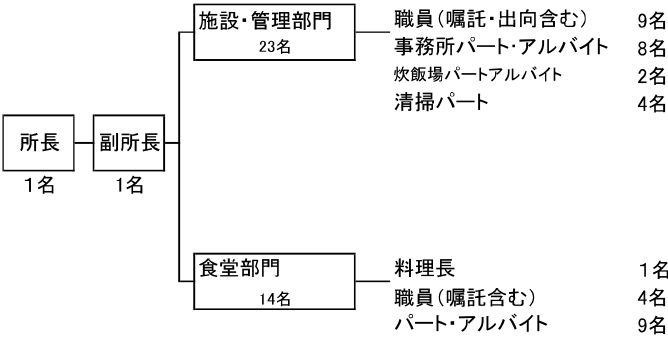
添付資料③参照

令和7（2025）年度 維持管理業務

保守点検業務記録	実施期間	委託業者、検査機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
汚水処理施設維持管理業務	通2回以上巡回 測定業務(月2回)	辻義設備	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
汚泥搬出業務	年1回(3月)	辻義設備												○
浄化槽検査業務	年1回(10月)	環境水質指導協会/辻義							○					
汚水水質検査	年1回(6月)	貝塚市環境衛生課			○									
簡易専用水道水質検査(16項目)	年1回(6月)	三和管財			○									
消毒副生成物検査・溶槽水検査	年1回(6月)	三和管財												
簡易専用水道水質検査(11項目)	年1回(12月)	三和管財									○			
溶槽水水質検査	年1回(10月)	三和管財							○					
受水槽清掃業務	年1回(12月)	三和管財									○			
空気環境測定	年6回(4・6・8・10・12・2月)	三和管財	○	○		○	○					○	○	
害虫・鳥防除業務	年4回(6・9・12・3月)	三和管財		○				○	○	○				○
特別清掃業務	年1回(2月)	三和管財											○	○
温水ヒーター(ボイラー)点検業務	月1回(自主)	三和管財	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遊艇残留塩素測定	毎日(自主)	三和管財	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
旅館業立入り検査	年1回(9月頃)	岸和庄保健所						○						
簡易専用水道検査(書類検査)	年1回	大阪防疫協会				○								
LPガス強制気化装置(ペーパーライザー)保守点検業務	年3回(6・11・3月)	昭米ガス								○				○
ボイラー排ガス測定業務	年2回(9・3月)	ダイキンエアテクノ						○						
自家用電気工作物安全管理業務	月次点検(月1回)	ダイキンエアテクノ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自家戸電気工作物確認点検	年次点検Ⅰ又はⅡ年1回(1月)	ダイキンエアテクノ										○		
灯台地下タンク保守点検業務	年1回(12月)	株式会社タツノ									○			
公用車点検	年2回(5・11月)	大塚トヨタ佐野店	○	○						○				
消防訓練	年2回(9・3月)	和泉防災												○
消防用設備点検等業務	年2回(9・3月)	和泉防災						○						○
防火設備点検点検	年2回(9・3月)	和泉防災						○						○
建築設備点検	年1回(3月)	和泉防災												○
特設建築物調査	3年1回(3月)次回はR7年	和泉防災												○
防火対象物点検	年1回(9月) 特例免除申請R10	和泉防災						○						
自主消防設備点検	月1回	スタッフ目視	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大型フロコン機器定期点検	3年1回(3月)次回はR7年	ダイキンエアテクノ												
フロコン使用機器貿易点検	年4回(4・7・10・1月)自主	スタッフ目視				○						○		
小荷物庫用昇降機点検	年1回(10月)	豪電エレベーター施設							○					
設置遊具年次点検	年1回(6月)	ウッドウォームズ			○									
設置遊具自主目視点検	毎月	自主作業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
植栽・山林管理業務	随時	自主作業												
牧地内除草業務	随時	自主作業												
牧地内草刈業務(雇用対策)	年1回(9月)	商工労働部就労支援事業						○						

添付資料②
1. 組織体制図

令和7年度



2. 従業員配置予定表

部門	区 分	人 数	比 率	備 考
総括部門	小計	2 名	(男 2 人、女 0 人)	
	職員(所長・副所長)	2 名	(男 2 人、女 0 人)	
食堂部門	小計	14 名	(男 7 人、女 7 人)	
	職員(嘱託含む)	5 名	(男 4 人、女 1 人)	
	パート・アルバイト	9 名	(男 3 人、女 6 人)	
施設・管理部門	小計	23 名	(男 11 人、女 12 人)	
	職員(嘱託含む)	9 名	(男 4 人、女 5 人)	
	パート・アルバイト	14 名	(男 7 人、女 7 人)	
計	小計	39 名	(男 20 人、女 19 人)	
	職員(嘱託含む)	16 名	(男 10 人、女 6 人)	
	パート・アルバイト	23 名	(男 10 人、女 13 人)	